

平成30年度 学校経営シラバス

北海道石狩翔陽高等学校

北海道教育の基本理念
自立 自然豊かな北の大地で、自立の精神にあふれ、夢や希望の実現に挑戦しこれからの社会を担う人材を育む 共生 心豊かに、ともに支え合い、ふるさとに誇りを持つ人を育む

基本理念の実現に向けて
社会で生きる実践的な力の育成 豊かな心と健やかな体の育成 信頼される学校づくりの推進 地域全体で子どもたちを守り育てる体制づくりの推進 北海道らしい生涯学習社会の実現

めざす学校像
1 生徒を中心に据え、生徒一人ひとりの興味・関心を尊重しそれぞれの個性・能力を伸ばす学校 2 生徒が安心して通うことができ、保護者が安心して通わせることのできる学校 3 教職員相互に、保護者に、地域に開かれた学校 4 生徒も教職員も自信に満ち、生き生きと活動している学校

めざす生徒像
1 規律を重んじ、社会生活に適応していける基礎・基本的な能力を身に付けた生徒 2 何事も自ら進んでやり抜く気力と体力を身に付けた生徒 3 豊かな心と、他を思いやる優しさや強い正義感を具えた生徒 4 どんな困難にも打ち克ち、未来を切り拓く逞しい心身を具えた生徒

領域	対象	中期目標	今年度の目標	目標達成のための評価の観点
教 育 活 動	学習指導	①主体的・対話的で深い学びを追究 ②基礎・基本の確実な定着と学習習慣の確立	①授業評価の実施と分析 ②教科内授業研究による主体的に学ぶ授業の実践 ③基礎・基本の定着 ④家庭学習の習慣化 ④授業規律の確立	①授業評価を実施・分析し主体的に学ぶ意欲を喚起する視点での授業改善は図られたか。 ②各種検査の実施・分析し、基礎・基本の定着が図られたか。 ③補習の計画的な実施により基礎・基本の定着が図られたか。 ④学習課題の工夫により家庭学習の充実が図られたか。また、家庭学習の状況を調査し実態を把握し改善できたか。 ⑤ベル席、授業準備、授業への集中など授業に積極的に取り組もうとする姿勢が見られたか。
	生徒指導	①生徒と教員の信頼関係の構築 ②自らを律する態度と他者との共生意識の育成	①生徒が抱える諸問題の早期発見と生徒一人ひとりに応じた指導の充実 ②挨拶の励行やマナー指導による社会性・寛容性の育成 ③校内外の規律遵守の徹底とSNSに関する指導の充実	①深い生徒理解により生徒の人格を尊重した心に迫る指導がなされたか。また、家庭との連携が図られたか。 ②挨拶やマナー指導に関して全教職員の共通な理解・認識・指導により、社会性・寛容性を育成できたか。 ③生活規律の徹底により、規律遵守の意識の高揚が図られたか。また、SNSに関する諸課題について理解を深めさせ、節度ある利用がなされたか。
	進路指導	①進路目標の実現に向け自ら進んで努力する態度の育成 ②進路指導体制の充実	①系統的・計画的な進路指導による進路意識の高揚 ②進路学習、ガイダンス機能の充実 ③各年次・分掌・教科の三者が連携した指導体制の強化	①進路指導が系統的・計画的に実施されたか。また、進路意識の高揚が図られたか。 ②情報や資料の収集・整理とその効果的活用・提供が図られたか。また、自主的な進路選択がなされたか。 ③各年次・分掌・教科の連携が十分になされ、共通理解に基づく指導がなされたか。
	健康・安全指導	①自他の生命を尊重する心の育成 ②健康で安全な生活を実践する態度の育成	①適切な生徒理解と教育相談体制の充実 ②学校安全指導と健康管理意識の向上 ③特別支援教育体制の充実	①悩みを抱えた生徒に、適切な教育相談や支援がなされたか。また、SCとの連携が図られたか。 ②学校安全指導が徹底できたか。また、健康管理や規則正しい生活を送るための指導が適切になされたか。 ③特別な支援を必要とする生徒の実態把握と情報共有及び教育相談委員会や特別支援教育委員会と教務部との連携が図られたか。
学 校 経 営	信頼される学校づくり	①生徒、保護者、地域の期待に応える開かれた学校づくりの推進	①地域の教育力の積極的活用 ②学校評価結果に基づいた改善・充実の活用 ③保護者や地域の理解と協力を得た教育活動の充実 ④高大連携の推進・充実	①ボランティア活動やインターンシップなど、体験的な教育活動を地域と連携して推進できたか。 ②学校評価結果等に基づき、改善の取組を実施できたか。 ③保護者や地域の協力・支援が教育活動に生かされたか。 ④高大連携が円滑に実施され、事業の充実が図られたか。
	組織運営	①学校課題の解決に向けた協働体制の確立 ②分掌や委員会の業務内容の検討 ③部活動運営の見直し	①「すべては子どもたちのために」の思いの共有 ②学校経営方針の理解と各分掌・年次の緊密な連携 ③管理職と教職員、教職員相互の信頼関係の強化 ④各分掌・委員会の業務内容の見直しとスリム化 ⑤服務規律の遵守と私費会計の適切な事務処理 ⑥部活動休養日の徹底	①「生徒のために何ができるか」という視点に立つ教育が実践できたか。 ②学校課題とその解決策が共有化され協働体制が確立されたか。 ③企画ヒヤリングにより計画性が担保されるとともに、部長主任会議が十分に機能したか。 ④各分掌・委員会の業務が組織的かつ効率的に推進されたか。 ⑤体罰・交通事故・金銭事故等の防止が図られたか。また、私費会計が適正に会計処理されたか。 ⑥年間を通して部活動休養日を計画的に実施できたか。
	教職員の資質向上	①校内研修の充実 ②危機管理	①新学習指導要領に関する校内研修の実施 ②ALの視点に立った指導方法に関する校内研修の実施 ③危機管理に関する校内研修の実施	①新学習指導要領の教科内研修を実施できたか。また、総則に関する全体研修が実施できたか。 ②ALなどの指導方法における校内研修の実施により、ALの理解の深化、授業力の向上、授業改善に繋がったか。 ③危機管理等の充実に向けた校内研修の実施により、危機管理能力が高まるとともに意識が高揚したか。